

おとなの週末
12月号増刊

吾空

ゴクウ

ワクワクする人生



ワンダーワールドへ!

イベリア半島「魂の旅」

「フランス人」にとって日本は憧れの国なんです

フランス人たちの

ジャポン・神楽坂

トレビアン生活

池波正太郎の
山の上ホテル三泊四日
水久保版 歌舞伎座の真髓
1泊2日の
リッチ体験 宿坊に泊まる
長谷川滋利 ミロクインタヒ
メジャーリーグの
抱腹絶倒ベンチ裏
「大写真館」キリストの降架
阿修羅立像・函館の夜景
半藤一利語り下ろし
幕末心理戦争
西郷と勝日本を変えた暗闘
黒直な天才シンガーソングライター
南「こうせつ」という生き方
世界が見つめた歴史の瞬間
1945 戦争が終った
味も空間も人も素晴らしい
夢を食する和食店
シャーロック・ホームズの
ほぼ全仕事 ①いしひさいち
京都の町家
ロングステイ

おとなの週末 12月号増刊 ゴクウ

京都・町家でロングステイ (p40～p42) に掲載



1 四条大橋付近の鴨川

① 四条大橋から見る鴨川沿いには、カップルが並んで歩いたり、おみやげ物屋が目立つ。5月から9月までは、鴨川に面した田舎川床(ゆか)を設け、風情を楽しむ客で賑わう。② 清水寺方面に上る産寧坂(なんねんざか)にはおみやげ物屋が軒を連ねる。③ 女性好きの石畳通称「ねねの道」を歩き和服姿の女性たち。



2 産寧坂



3 ねねの道

古都を味わい尽くす喜び

その全体験を御報告

京都町家で

2泊3泊の旅では廻りきれない京都の寺院や観光地。機会があれば長期滞在して、思う存分見学したい。そこで1ヵ月間、京都中心部の町家を借りるといくらになるか、調べてみると、2人で24万円ほど。これなら夢ではない！

ここでは、憧れの京都の町家でのロングステイを、ライター藤倉慎也が体験してみました。

1ヵ月のすべてを詳細にご報告します。

ロングステイ

④ 照明がついているのが、今回借りた新釜屋の町家の玄関入り口。⑤ 今回借りた町家は、四条扇丸近くの「風良都新釜屋」と、二条城に近い「風良都二条城北」の2ヶ所。どちらも市の中心部にある



4 新釜屋の町家



5 風良都二条城北

隅から隅まで 歩いてみたい

私が訪れた9月は、数日を除いてほとんどが快晴。快適な1カ月の生活ぶりを、日記にしてみました。

9月1日 舞妓をた〜運遇

東京駅発のぞみで、14時15分に京都駅着。中学、高校の修学旅行以来、何十年ぶりの京都だ。まず駅構内の「京都市観光案内所」に向かう。ここでは、催事の予定や交通機関の利用法案内、ホテルの紹介などを行っている。

「1ヵ月滞在するんですが、9月に何かイベントはありますか？」と「京よみ9月号」という冊子(無料)を渡される。ついで、観光に便利なバスについて尋ねると「バスナビ」というパンフレットを聞いて、説明してくれた。「行きたい場所にバス路線の番号が書いてあるのが、何番に乗れば目的地にいけるかがわかります。市の中心部分(白く塗られている)はどこまで行っても1乗車200円。それ以外のところは、別料金

藤倉慎也(ふじくらしんや・49歳)。東京で生まれ、茨城県土浦市で育つ。週刊誌や月刊誌のライターとして活躍し、今年で24日目を迎える。妻と大学1年、高校1年の4人家族。

が加算されます」

スタッフの「わからないことがあったら、また来てください」という励ましの言葉をもらって、四条烏丸の「東横イン」にチェックイン。町家は5日から借りることになっているので、入居の日までの仮住まいだ。

荷物を置いて、すぐに散策に出かけた。まずは今回の滞在の安全を祈念して八坂神社へ。そこから、すぐ近くの「花見小路通り」にも行ってみた。道の両側には京町家の料亭や飲食店が立ち並び、独特の雰囲気だ。通りには外国人観光客も多し。お座敷に向かう時にこの道を通る。「舞妓さん」の写真撮影が目的らしい。ときおり控えめな歓声が「わあー」と上がり、フラスコが騒ぐ。声のほうに目を向けると「ゴロンゴロン」とホツタリの音をさせながら、足早に歩く舞妓さんの姿が見えた。

2日 スタバの女性店員

錦市場、新金極の寺町通アーケードを歩いていると、本能寺を発見する。織田信長が明智光秀の謀

反て命を落とした寺だ。宝物館があったので入館(500円)。本能寺の変を察知して泣き声を上げたという「カエルの香炉」を始め、火災から難を逃れた品々が展示されている。入り口付近にいた年配のスタッフに話しかけてみた。

4日 京都暮らしのコツ

私「ここに信長も眠っているんですけど」
スタッフ「こは、信長の亡き後三男の信孝によって、生前、信長が使用していた太刀を祀っているのです。信長のお墓というのは、京都に何か所あるんですよ」
お墓が何カ所も? そのスタッフは、本能寺の変は徳川家康の陰謀説、明智光秀は生き延びていた説など、つい先日の出来事のように語る。思わず聞き入ってしまった。

「町家倶楽部」事務局長の小針剛さんに会う。町家の有効活用を支援する団体で、事前に連絡して、町家暮らしのポイントを教えてほしいとお願ひしておいたのだ。小針さんと一緒に、同じ道路に向かい同士の家が、京町内会についていて、防犯や火災を防ぐために情報交換を密にしているという。だから新しい人が入ってくる。気に入るのだそう。

5日 初めての町家生活

いよいよ引越す。不動産管理会社「フラットエージェンシー」で鍵を受け取る。近所への挨拶について聞くところ、担当者「オーナーから町会長さんへ、どんな方がお借りになるのか連絡してあるので、町家は四条通から狭い路地を入ったところであり、敷軒がなかなか長い長屋風。思っていたより立派な建物だ。」
突然、玄関のチャイムが鳴った。誰だろ? ドアを開けると、中

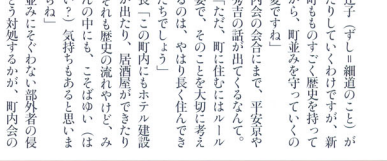
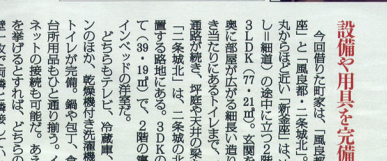
6日 町内会の会合

朝10時、ちよつと緊張しながら町内会が行われる町会長宅へ。こんなにちよつと玄關先で声をかける、出てきたのは町会長の奥さんだった。広い二間続きの和室に通がいくつも並べられ、10人ほどが座っている。みなさん60歳は超えている感。あるおばあさんは、渡された資料を見ようとして、「あ、眼鏡もって来いへんかった。まあ、いいわ、聞かしてもらうわ」
今日日は、都市計画のコンサルタントを呼んで、町並みを維持するための勉強会だった。



「新釜座町を暮らしやすいまちにするために」と題し、町並み保全のための勉強会が開かれた町内会の会合

年男性が立っている。
「私、この町会長ですけれど、これ、明日あるんですけど、出てみたらどうですか?」
と、一枚の紙を見せてくれた。町内会の会合のようだ。ここを借りるときに不動産会社に、町家にロングステイして、その体験を雑誌にまとめたいと話しておいたので、それを聞いて誘ってくださった。ありがたいことだ。



風良都新釜座

都では、1日から入居できるホテル感覚の町家やゲストハウス(簡易宿泊所)、長期滞在用の町家レンタルなど、ホテル以外のさまざまな宿泊施設が増えている。インターネットで探してみると、たとえば大手の不動産会社が提供する「京町家1泊素泊まり」が、大人1人1万1000円から。中には1人3万円を超えるところもある。

そんな中で探出した「フラットエージェンシー」は、最低7日間以上の利用で、4つの物件が貸し出されている。最長1年間まで借りることができ、その後も延長は可能だ。まずは、ネットなどで希望の物件

をチェックし、電話かメールで問い合わせさせて空き状況を確認。長期間、町家を借りる人も多いことから、料金などを確認して、送られてくる申込書や契約書に必要な事項を記入し、免許証のコピーなどの身分証明書を、24時間連絡ができる連絡先とつけて送付する。後日、宿泊費の振り込みをして手続き終了。鍵の受け渡しは賃貸の始まる日に「フラットエージェンシー」で行われ、「ゴミ出しの場所や曜日」が記された確認書類などいっしょに鍵を受け取る。そのあと渡された地図をよりに自分で29日「新釜座」の料金は、7日から29日までのレンタルの場合、入居時の清

①お子では、テレビのロケも行われるとか。②広いリビングから玄関脇の3畳間を見る。モノトーンの室内は落ち着いた雰囲気。③天窓から日が差し込むキッチン。④坪庭も見られる浴室。⑤3畳間の窓には格子がある。⑥2階の踊り場からのぞいた6畳の寝室



生活

掃料6000円、1日当たりの賃料が1万円(この金額で4人まで利用OK)、光熱費7355円(2人自から1人につき3157円追加。利用者だけ、寝具も用意してくれる。ちなみに、宿泊日数によって賃料は変わり、30日を超えると賃料は6000円、90日以上は6100円と割安になり、210日以上は6000円、2人で30日間借り

ると、合計24万円となる。「二条城北」では、同じような内容で30日間借りた場合、2人で18万8850円、長期間借りすれば、1日の賃料がさらに安くなる。「祇園祭や紅葉の季節など、観光シーズンにあわせて借りる方も多いです。最近では海外からの問い合わせも多いんです(フラットエージェンシー)

路地に立つ町家を借りる



フラットエージェンシー/京都市下京区七条扇丸東入真字屋前220-3小車ビル2階 0120-85-0669 市バス5系統ほか「扇丸七条」バス停より徒歩2分

風良都二条城北



⑦格子窓がある1階の4畳半。⑧2階の寝室はエアコン完備。ベランダには、物干しもあった

法で「お子(すし)細道のこと」ができたとしてもいいわけですが、新釜座町もそのすぐ歴史を持つところから、町並みを守っていくのも大変ですね」

町内会の会合にまで、平安京や豊臣秀吉の話が出てくるなんて講師「ただ、そのに住むにはルールが必要で、町に大切に考えられるのは、やはり長く住んできた人たちでしょう」

町会話が、その町内にもホテル建設の話が出たり、居酒屋ができたり……それも歴史の流れやけど、みなさんの中にも、こそばゆい(はがゆい)と、気持ちもあると思いませんか」